

共同宣言 まちづくり部会 事業計画

1. 共同宣言「まちづくり部会」の目的

共同宣言の趣旨「地域農業と日本の食料を守り、持続可能な社会と地域を発展させる」を実現させるための課題分野として確認された「移住、定住促進活動への取組」を進めるために課題整理とその対応について遊佐町、生活クラブ連合会、JA庄内みどりがそれぞれの立場で協力して取り組むことを目的とします。

2. まちづくり部会の役割

「移住、定住促進活動への取組み」は、町としては直接的な人口減少への対策であると同時に、JAとしては農業の担い手の確保、生活クラブとしては生産参画を進めるための移住希望者の受け入れ先の整備という意義を見出すことができます。

遊佐町では「いきいきゆざトッププラン」に基づき、「働き場・若者・賑わい いきいきゆざの再構築」をキーワードとするまちづくりに取り組んできました。平成24年度からは「遊佐町定住促進計画」を策定し新たな定住施策を展開しているものの、すぐに「移住、定住」という結果に結びつくものではありません。

まちづくり部会の役割はこうした「移住、定住」の前段階における「遊佐を知る」「遊佐の自然・農業に触れる」機会づくりにあるといえます。生活クラブ組合員が生産地としてだけでなく「移住・定住」先として認識を広めるための取組を中心に行います。

3. 実施事業内容

(1) 着地型遊佐ツアーの実施

観光協会の行う「遊佐ツアー」及び鳥海山おもしろ自然塾推進協議会の行う「鳥海山おもしろ自然塾」事業を年間通じて実施し、生活クラブ組合員へは現地発着の形で参加を促します。

また夢都里路くらぶの日程調整を行い、援農後の滞在プラン作成に取り組むなど生活クラブ組合員が参加しやすい条件を整えます。

(2) 発地型遊佐ツアーの企画及び実施

首都圏発の遊佐の資源を活用したツアー商品の造成を協力して行います。そのために生活クラブ組合員を対象としたモニターツアーを実施し、そこでの意見を元にツアー商品を企画し継続的な実施を目指します。

(3) 田舎暮らし体験ツアーの実施

年間で複数回の開催を予定します。ツアー対象者は関東在住者とし、生活クラブ組合員へは『本の花束（図書共同購入カタログ）』等を通じて告知を行うほか、ネットやチラシ

の配布で募集します。移住定住の動機付けとなるようツアー内容に、先輩移住者体験談や空き家の物件案内を盛り込み、ツアー参加者のアンケートを実施し、その後のツアー内容改善に反映させていきます。

(4) 短期滞在型の空き家活用住宅の整備

援農、農業体験企画などに参加する生活クラブ組合員などが滞在できる空き家を整備し、定住前の「お試し暮らし」を支援します。

(5) 生活クラブ組合員への周知と意見反映（情報提供事業）

生活クラブ組合員へは、『本の花束（図書共同購入カタログ）』やライブラリー、WEBを通じた告知を行うほか、夢都里路説明会、産地別交流会、庄内交流会等の機会を通じて直接告知していきます。（H26.3.1 夢都里路説明会で初の実施）

ゆぎツアー等への参加者、生活クラブ側の意見反映の機会を検討します。

4. 事業計画期間

平成26年度～平成30年度の5カ年

ただし、事業計画の年次的調整を図るとともに、3年ごとに次期5カ年の計画を作成します。